

「アンナプルナ内院 13 日間」を 11 月 6 日～11 月 18 日に行いました。

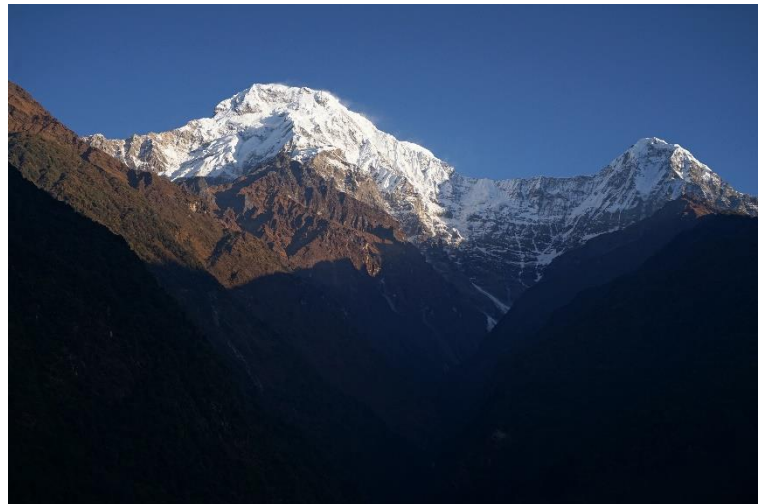
かつてのアンナプルナ内院は本当に寒い所でしたが、この時期としては気温が高く、3 日目のバンブー(2310m) 迄は大汗をかきながら登る程でした。今秋の関東地方は連休を狙ったように 960hPa 前後の超大型台風が 2 度も通り、世界の至る所で異常気象が起きています。トレック中に気付いたのがトレッカーの動向で、大賑わいのトレイルが 11 月 15 日頃を境に一気に静かになりました。大賑わいはかつて殆ど見なかった中国のトレッカーの激増でしょうか。ところで日本のトレッカーは年々減少傾向で、この地ばかりかヒマラヤ各地でも同じとか。山好きの皆さん、神々しいヒマラヤの山々を楽しまれては如何でしょうか。



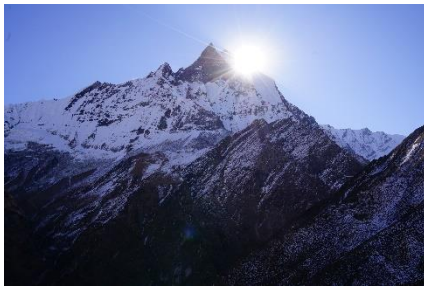
(フラミンゴ色の朝焼け 11 月 12 日)

○アンナプルナ ABC へ

驚いた事が二点、一つは道路がガンドルン村迄完成していた事、もう一つは内院のビールの値段でロング缶 1 本 650 ルピー。道路の完成はかつてロバの商隊が運んでいた物資を車で運べる様になり、地域振興に大きく貢献しています。しかし、トレック日程が短縮されてアンナプルナ内院がより身近になり、牧歌的な雰囲気を楽しみながら歩む本来のトレッキングが無くなり、一抹の寂しさを感じます。一方、ビール価格は日本円に換算すると 1 本約 650 円。ヘリ輸送で荷物を運ぶ日本の山小屋と遜色ナシ。これは一例えとして、日本の物価は為替を加味して世界から見れば可也お安くなっているのでは？



(アンナプルナサウス 11 月 9 日)





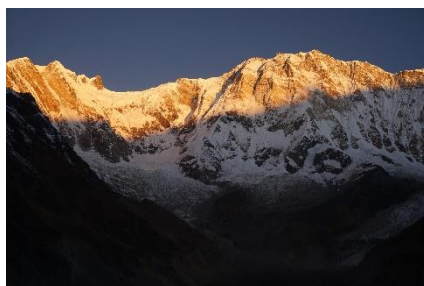
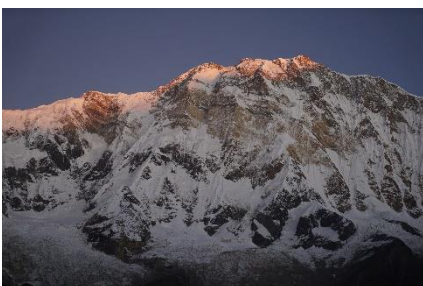
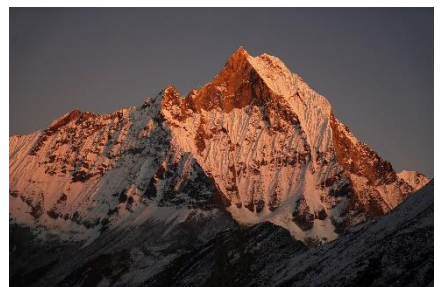
(夕焼けのマチャプチャレ 11月11日)

○アンナプルナ ABC から

入山時は雨が降る少し不安定な天候でしたが徐々に安定し、クライマックスのマチャプチャレやアンナプルナのベースキャンプは素晴らしい天気になりました。満月が関係するののか、はたまたその時の気象条件によるのか分かりませんが、日の出の40分ほど前にアンナプルナがフラミンゴ色に綺麗に染まりました。この色をカメラに収めるには私の腕前で難しく、この神々しいアンナプルナの色と雰囲気をお腹に深く焼き付けました。



(アンナプルナベースキャンプ 11月12日)





(ポインセチア自生 11月15日)

※ヒマラヤの桜前線は降下中で、標高 1800mあたりが満開でした。ヒマラヤの桜は日本の紅葉と同じく、秋に上から下に向かって開花して行きます。

2019 年度の天溪ツアーは 11 月 28 日から始まる「パタゴニア パイネとフィッツロイ 15 日間」を持って今年度のツアーを終了します。パタゴニアは南アメリカ大陸の南緯 40 度付近を流れるコロラド川以南の地域の総称で、日本から飛行機を乗り継いで約 30 時間の真裏の地。氷河と岩峰で形成されたパイネやフィッツロイ周辺をハイキングして来ます。

天溪 赤沼